

現職校長会・退職校長会役員研究協議会開かれる

平成29年12月6日(水)
さいたま市民会館うらわ

出席者

○県小中学校長会正副会長、幹事長・理事長、事務局長等19名

○県退職校長会正副会長、幹事長・理事長、顧問等20名

○県退職校長会正副会長、事務局長、幹事、顧問等20名

○県退職校長会正副会長、事務局長、幹事、顧問等20名

石田 孝作退職校長会会长

現・退校長支部別教育推進協議会は本会の発足当初から続いている。全国的にも高く評価されている。また本会がホームページを開設して2年目を迎える。現職の先生方にも参考にしていただきたい。

議会は本会の発足当初から続いている。全国的にも高く評価されている。また本会がホームページを開設して2年目を迎える。現職の先生方にも参考にしていただきたい。

田村 俊一小学校校長会長

本年3月に次期学習指導要領が告示された。小学校では、外国語活動の授業時数増をいかに確保するか、などが大きな課題となっている。各学校には県民から信頼され、誇りに思われる学校づくりが求められている。学び実践する小学校校長会として日々精進し

ていく覚悟である。

松本 文利中学校校長会会長

中学校教育が70周年を迎えた。様々な課題が山積しているが、今年度中学校長会では、

「共有」を課題解決へのキー

ワードとして取り組んでい

る。埼玉県の子どもたちの笑顔のため、校長という仕事を楽しんでいきたいと考える。

栗原 喜一郎顧問

議会は本会の発足当初から続いている。全国的にも高く評価されている。また本会がホームページを開設して2年目を迎える。現職の先生方にも参考にしていただきたい。

現・退校長支部別教育推進協議会は本会の発足当初から続いている。全国的にも高く評価されている。また本会がホームページを開設して2年目を迎える。現職の先生方にも参考にしていただきたい。

清水 章夫顧問

学校には様々な課題がある

と思うが、ぜひ地域の退職校長と連絡を取り、支援していく

ことをお願いする。

教育は大きな曲り角に来て

いるが、これから日本の教育はやはり小中学校が担つて

いく部分が大きいと強く感じ

いる。今日は、小中学校教育の現状についての発表を聞き、

勉強させていただきたい。

さあ、始めます。

1 小学校校長会
「児童の「自己肯定感」と「生きる力」の育成を目指して安心・安全な学校づくりを通して、連携カレンダーに位置づけた。松本文利中学校校長会会長

宮原 由紀夫校長

平成27年度にISS(イン

ターナショナル・セーフスクール)校の国際認証をいただ

き、安心・安全な学校づくりに取り組んでいる。

1 安全・安心な環境づくり

ISS集会の実施

2 安全安心な人間関係づくり

継割り遊び、高学年による低学年への支援

3 わかる安心の創造

花小授業モデルの作成

4 心の安全・安心づくり

いじめ調査・生活調査の実行

5 地域や人とのつながりづくり

花小サポートーズ、スクーリガード等の協力

2 学びをつなげ 梦をはぐくみ 未来を拓く 連携教育の推進

川口・舟戸小学校 戸ヶ崎 幾江校長

本校は同一敷地内にある舟戸幼稚園、南中学校と共に「舟

戸学園」と呼ばれ、舟戸学園における学校間連携は歴史と伝統ある取組である。
①連携カレンダーに位置づけた。年間の計画的な交流のための「舟戸学園連携カレンダー」の作成

11年間を見通した家庭学年間の計画的な交流のための「舟戸学園連携カレンダー」の作成

1 中学校校長会
——中学校長会——

生徒のよさを活かし、伸ばす指導法の工夫

川越・川越第一中学校 鈴木 朗校長

中学校は、かつての荒れを

乗り越え、現在は県内どの地域においても落ち着いてい

る。その要因として、①小・中連携の強化、②教職員の生徒指導力の向上、③積極的な生徒指導が定着してきたこと、④関係機関との連携の深まり、⑤いじめ

4 「彩の国 教育の日」協賛、現職・退職校長支部別教育推進協議会について

10月17日から、11月30日まで、各支部で開催された。

5 現職・退職校長会役員研

究協議会について

各校長会の現状と課題解決

6 ホームページについて

平成28年4月開設。都道府県では、本県と東京都のみ。

7 年金制度の動向について

石田孝作会長より、年金制度の動向について、資料を用いて、具体的な説明があつた。

1 小中学校長退職後の「再就職・待遇に関する実態調査」集計結果について
①連携カレンダーに位置づけた。年間の計画的な交流のための「舟戸学園連携カレンダー」の作成

1 中学校校長会
——中学校長会——

生徒のよさを活かし、伸ばす指導法の工夫

川越・川越第一中学校 鈴木 朗校長

中学校は、かつての荒れを

乗り越え、現在は県内どの地域においても落ち着いてい

る。その要因として、①小・中連携の強化、②教職員の生徒指導力の向上、③積極的な生徒指導が定着してきたこと、④関係機関との連携の深まり、⑤いじめ

4 「彩の国 教育の日」協賛、現職・退職校長支部別教育推進協議会について

10月17日から、11月30日まで、各支部で開催された。

5 現職・退職校長会役員研

究協議会について

各校長会の現状と課題解決

6 ホームページについて

平成28年4月開設。都道府

県では、本県と東京都のみ。

7 年金制度の動向について

石田孝作会長より、年金制度の動向について、資料を用いて、具体的な説明があつた。